

福祉科 「生活支援技術」 (医療的ケアを含む)	単位数	3単位
	学科・学年	介護福祉科(1年)

(1) 学習のねらい(目標)および使用教材

学習到達目標	人の尊厳の保持や自立支援を理解し、基礎的な介護の知識と技術を身に付けるとともに、デイサービスセンターやグループホームの利用者に適切かつ安全に支援できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材	「生活支援技術」(実教出版) 最新介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」(中央法規) 最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」(中央法規)

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 基礎的な介護の知識と技術に関心を持ち、意欲的に学習している。 思考・判断・表現 安全・安楽、自立支援のための基礎的・基本的な介護技術について考えている。 技能 基礎的な介護の知識と技術を実践することができる。 知識・理解 基礎的な介護の知識と技術を身に付けている。
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、レポートの提出・筆記試験・実技試験で総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	授業は教師や友達の発表をよく聞き、必要事項をノートに書き込むこと。実技では実習着をきちんと着用し、積極的に実習に取り組み、実習記録を提出すること。
---------------	---

(4) 学習計画

「1学期」

項目	学習のねらい
生活支援とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 生活がどのような側面から構成されているか理解する。 生活について、人間の発達段階と関連づけて理解する。 生活支援の対象者や生活支援の考え方、ICFについて理解する。
居住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 居住環境の整備の視点を理解する。 現在の居住環境は、高齢者の生活にどのような影響を与えているかを理解する。 高齢者の自立を支援するための住まいについて理解する。 住宅および施設の環境整備の具体的な進め方について理解する。 居住環境の整備における技術を身に付ける。
家庭生活にかかわる基本知識	<ul style="list-style-type: none"> 〈シーツの扱い方・ベッドメイキング・シーツ交換〉 〈体位・安楽な姿勢・立ち上がり・ボディメカニクス〉

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
<p>家事の介護</p> <p>身支度の介護</p> <p>移動の介護</p> <p>食事の介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家事の支援の意義と目的について理解する。 ・家事支援における介護技術について理解する。 ・他職種の役割と連携について理解する。 ・生活支援におけるアセスメントについて理解する。 ・ICFの考え方とアセスメントの関係性について理解する。 ・衣生活と衣服の管理方法の基本について理解する。 ・高齢者にとって衣服の意義と衣生活の個別性について理解する。 ・衣生活と整容行動の支援の方法について理解する。 ・身じたくにおけるの介護技術を習得する。 〈衣服の着脱・整髪〉 ・人間の生活のなかで、“移動”がいかに大きな意味をもつかを理解する。 ・移動の介護における基本的姿勢について習得する。 ・安全で安楽な移動の介助の方法を習得する。 ・移動・移乗における基本的な知識と技術を身に付ける。 〈歩行介助・車椅子の介助・体位変換〉 ・移動・移乗における基本的な知識と技術を身に付ける。 〈車椅子への移乗・ベッド上での移動〉 ・食事の意義と目的を理解する。 ・食事における介護技術を身に付ける。 〈食事の介助・口腔ケア〉 ・食事における他職種の役割と協働について理解する。

「3学期」

<p>入浴・清潔保持の介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持の意義と目的を理解する。 ・入浴・清潔保持における介護技術を身に付ける。 〈清拭・部分浴の介助・一般浴の介助・特殊浴の介助〉 ・入浴・清潔保持の介護に関する他職種の役割を理解する。 ・入浴・清潔保持の介護に関する他職種の役割を理解する。
-------------------	--

福祉科 「生活支援技術」 (医療的ケアを含む)	単位数	3単位
	学科・学年	教養福祉科(2年)

(1) 学習のねらい(目標)および使用教材

学習到達目標	自立生活を支援するための介護の役割を理解し、介護実習により介護等に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得するとともに、様々な介護場面において支援できる能力と態度を育てる。また、介護現場で必要な医療的ケアについて、医療職との連携のもと、安全・適切に実施できるよう、必要な知識や技術を習得する。
使用教科書 副教材	生活支援技術(実教出版) 新介護福祉士養成講座6生活支援技術Ⅰ(中央法規) 新介護福祉士養成講座7生活支援技術Ⅱ(中央法規) 最新介護福祉士養成講座8生活支援技術Ⅲ(中央法規) 介護福祉士実務者研修テキスト第5巻医療的ケア(中央法規)

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p>関心・意欲・態度 高齢者や障害者の自立支援について関心を持つとともに、実習等を通して、総合的な知識と技術を学習し、利用者のニーズについて主体的に学習しようとする態度が身に付いている。</p> <p>思考・判断・表現 自立した生活についてよく考え、高齢者や障害者に応じた支援方法を適切に判断できる。また、習得した知識と技術を実践し、記録や報告等で実施手順や問題点、利用者の状況等を表現することができる。</p> <p>技能 高齢者や障害者に対して、安全・安楽な介護技術を実施することができる。</p> <p>知識・理解 日常生活の支援技術に関する基礎的な知識を身に付け、利用者に応じた支援方法について理解している。</p>
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、レポートの提出・筆記試験・実技試験で総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	<p>利用者の個別性を理解し、一人ひとりが異なった支援が必要であるため、基礎基本をしっかりと理解し、技術を習得する。また、利用者の心理的な側面も模擬体験し理解する。</p> <p>介護実習での実践の基礎となるので、積極的に取り組み、現場で通用する確実な技術と態度を身に付ける。</p>
-------------------	--

(4) 学習計画

「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
医療的ケア実施の基礎	<ul style="list-style-type: none">・医療的ケアを実施するための基礎知識を理解する。・医療的ケアに関連する法制度や倫理等を学ぶ。・感染予防、安全管理体制についての基礎知識・技術を習得する。
自立に向けた移動の介護	<ul style="list-style-type: none">・移動の意義と目的を理解し、介護技術を身につける。 〈車いす・歩行器・歩行補助つえ等を利用した介助〉
自立に向けた排泄の介護	<ul style="list-style-type: none">・排泄の意義と目的を理解し、介護技術を身につける。 〈尿器、便器の介助・ポータブルトイレ・オムツ交換〉
自立に向けた入浴・清潔保持の介護	<ul style="list-style-type: none">・入浴・清潔保持の意義と目的を理解し、介護技術を身につける。 〈清拭・部分浴の介助、一般浴・特殊浴の介助〉

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
生活支援に向けたアセスメント	<ul style="list-style-type: none">・適切な生活支援のための利用者理解におけるアセスメントのあり方を理解する。
喀痰吸引（基礎的知識・実施手順・演習）	<ul style="list-style-type: none">・呼吸器系のしくみ、吸引を受ける人の気持ちの理解など、喀痰吸引の基本的知識を理解する。・安全、安楽な喀痰吸引の技術を習得する。
自立に向けた家事の介護	<ul style="list-style-type: none">・家事のもつ意義について理解し、家事の自立に必要な基本的知識について学ぶ。・家事の自立に不可欠な技術とその指導方法を理解する。
家庭生活にかかわる基礎知識	<ul style="list-style-type: none">・家庭生活の営みや果たすべき役割を理解する。
経管栄養（基礎的知識・実施手順・演習）	<ul style="list-style-type: none">・消化器系のしくみ、経管栄養を受ける人の気持ちの理解など、経管栄養の基本的知識を理解する。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
自立に向けた睡眠の介護	<ul style="list-style-type: none">・睡眠の意義と目的を理解し、介護技術を身につける。 〈安眠のための介助・不眠時の介助〉
終末期の介護	<ul style="list-style-type: none">・終末期における介護の意義と目的を理解し、介護技術を身につける。 〈終末期における介助〉・他職種の役割と協働について理解する。
救急蘇生法	<ul style="list-style-type: none">・救急蘇生法について、心肺蘇生法の技術を習得する。

福祉科 「生活支援技術」	単位数	4単位
	学科・学年	教養福祉科（3年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、介護実習により介護等に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得する。また様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。
使用教科書 副教材	「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（中央法規） 「生活支援技術」（実教出版）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p>関心・意欲・態度 高齢者や障害者の自立支援について関心を持つとともに、介護実習等を通して、総合的な知識と技術を学習し、利用者のニーズについて主体的に学習しようとする態度が身に付いている。</p> <p>思考・判断・表現 自立した生活についてよく考え、高齢者や障害者に応じた支援方法を適切に判断できる。</p> <p>技能 高齢者や障害者に対する介護に関して、基礎基本を身につけている。また、習得した知識と技術を介護実習で実践できるとともに、日誌等の記録に問題点を表現することができる。</p> <p>知識・理解 日常生活の支援技術に関する基礎的な知識を身に付け、利用者に応じた支援方法について理解している。</p>
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、レポートの提出・筆記試験・実技試験で総合的に評価します。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	<p>利用者の個別性を理解する。また、利用者の心理的な側面も体験的に理解する。</p> <p>介護実習での実践の基礎となるため、積極的に取り組み、現場における確実な技術と態度を身につける。</p>
-------------------	--

(4) 学習計画

「1学期」

項目	学習のねらい
第1章 障害児・者の生活支援の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児・者への生活支援の基本条件について学ぶ。 ・障害児・者への生活支援のために必要とされる情報と観察・評価・理解の視点を習得する。 ・障害児・者への生活支援における介護福祉士の業務と他職種との連携の意味を理解する。
第2章 運動機能障害のある人	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能障害のある人への生活支援の基本的な観点を学ぶ。 ・運動機能障害のある人のアセスメントと生活支援の目標設定

の生活支援技術	を的確に行うことができる。
第3章 内部障害のある人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能障害のある人への生活支援技術を習得する。 ・内部障害の定義、分類、症状について正しく理解する。 ・内部障害のある人とのコミュニケーションの方法・注意点とアセスメントの視点を理解する。 ・内部障害のある人への具体的な生活支援の方法を学ぶ。
第4章 視覚障害のある人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害のある人の特性と困難を正しく理解し、介護上の留意点を理解する。 ・視覚障害のある人のアセスメントの視点を学び、生活支援技術を具体的に習得する。

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第5章 聴覚障害のある人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害の中心的問題について理解し、聴覚障害のある人のアセスメントの視点と留意点を理解する。 ・聴覚障害のある人の生活支援技術の基本的な観点を理解する。 ・聴覚障害に他の障害が重複している人の生活支援を考える。
第6章 言葉に障害を認める人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の障害の3つの型の内容と原因を理解する。 ・言葉の障害のある人がどの型に属するののかの班別に必要な知識と技術を学ぶ。 ・言葉の障害の原因によって異なる支援の方法を学ぶ。
第7章 発達障害のある人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の種類とそれぞれの特徴を理解する。 ・発達障害に知的障害を伴う人、または伴わない人の症状の特徴とアセスメントの視点を理解する。 ・発達障害のある人の生活支援のための具体的な技術を学ぶ。
第8章 精神障害のある人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害のある人の特性を理解し、生活支援の基本的考え方について学ぶ。 ・精神障害のある人のアセスメントの視点を理解する。 ・精神障害のある人の生活を支援する具体的な技術を習得する。
第9章 高次脳機能障害のある人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害による障害特性と生活への影響を理解する。 ・高次脳機能障害を認める人の生活支援技術を具体的に理解する。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第10章 認知症の人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状と認知症が生活に与える影響について理解する。 ・認知症の人にかかわるときの態度の原則とコミュニケーションのあり方について理解する。 ・認知症の人のアセスメントの視点と方法について理解する。 ・認知症の人の生活支援技術の具体的なあり方を学ぶ。
第11章 全介助を要する人および難病の人の生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・全介助を要する人や難病の人のそれぞれの身体的心理的状态を理解する。 ・全介助を要する人や難病の人とのかかわり方とコミュニケーションの方法について習得する。 ・全介助を要する人や難病の人への生活支援技術を習得する。

